

合意形成研究会 (研究分担者)

嶋田 暁文 (しまだ あきふみ)



※研究分野：行政学、地方自治論、政策研究

※合意形成に関する研究の視点：

- ①不確実性が合意形成に及ぼす影響に着目した、合意形成理論の体系的整理。
- ②利害・制度・認知・首長リーダーシップ・職員の役割等に着目した実証研究。

職名	九州大学大学院法学研究院 准教授
略歴	2002年3月、中央大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。日本学術研究会特別研究員(PD)(2002年4月～2004年3月)、地方自治総合研究所非常任研究員(1999年6月～2004年3月)を経て、2004年4月より現職。
所属学会	日本行政学会、自治体学会、日本政治学会、日本地方自治学会、公共政策学会
本研究会における報告	第1回研究会(2015年6月21日)「合意形成研究会メモ」 第2回研究会(2015年10月25日)「合意形成論の構図～以前の研究会における議論を踏まえて～」
研究業績など	<p>【2015年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶋田暁文「分権改革の制度設計～国策による絡めとり・改革成果の活用不全・分権危惧論を踏まえて～」『地方自治職員研修』2016年1月号(近刊)、査読無。 ・嶋田暁文「自治体職員の計画力・構想力」『ガバナンス』2015年9月号、28-30頁、2015年、査読無。 ・嶋田暁文・阿部昌樹・木佐茂男(編著)／太田匡彦・金井利之・飯島淳子(著)『地方自治の基礎概念——住民・住所・自治体をどうとらえるか』公人の友社、2015年8月、5-24頁。 ・嶋田暁文「「公平性・平等性」要請に起因する硬直的な行政対応とその克服方策～行政倫理の豊潤化と「臨床行政学」の提唱に向けて～」『住民行政の窓』2015年8月号、2015年、2-19頁、査読無。 ・嶋田暁文・木佐茂男(編著)／青木栄一・野口和雄・沼尾波子(著)『分権危惧論の検証——教育・都市計画・福祉を題材にして』公人の友社、2015年7月、全127頁。 ・嶋田暁文「(書評)千草孝雄『アメリカの地方自治研究』」『年報行政研究』50号、2015年5月、136-140頁、査読無。 ・嶋田暁文「自治体職員の働き方と住民の幸せ」『ガバナンス』2015年2月号、28-30頁、2015年、査読無。 <p>【2014年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶋田暁文『みんなが幸せになるための公務員の働き方』学芸出版社、全203頁、2014年。 ・嶋田暁文「自家用有償旅客運送に関する事務・権限の移譲をめぐる一考察(下)～地域のニーズと自治体の実態の狭間で分権改革を考える～」『自治総研』2014年4月号、39-73頁、2014年、査読有。 ・嶋田暁文「自家用有償旅客運送に関する事務・権限の移譲をめぐる一考察(上)～地域のニーズと自治体の実態の狭間で分権改革を考える～」『自治総研』2014年3月号、1-37頁、2014年、査読有。 ・嶋田暁文「自家用有償旅客運送に関する事務・権限の移譲とその課題：求められる

制度設計』『ガバナンス』2014年1月号、25-27頁、2014年、査読無。

【2013年】

- ・嶋田暁文「福岡市における屋台と政治・行政(下)」『自治総研』2013年10月号、43-95頁、2013年、査読有。
- ・嶋田暁文「福岡市における屋台と政治・行政(上)」『自治総研』2013年9月号、1-38頁、2013年、査読有。
- ・嶋田暁文「『第2次分権改革』の総括と自治体に求められる工夫～地域の実情に合った基準の設定および運用を目指して～」『季刊行政管理研究』142号、15-40頁、2013年、査読無。
- ・嶋田暁文・澤野繁春・安野照秀・米倉浩三・八尋和郎・臼井智彦「(座談会)福岡市における屋台のこれまでとこれから～『持続可能な共生』のために～」『地方自治ふくおか』55号、3-31頁、2013年、査読無。

【2012年】

- ・宮田正尙・嶋田暁文・今村都南雄・金井利之『ゼロからの自治—村長・宮田正尙』公人社、全156頁、2012年。
- ・嶋田暁文「日本における分権改革の現状と課題」『地方自治法研究』(韓国地方自治法学会誌)、34巻12-2号、69-92頁、2012年、査読無。
- ・嶋田暁文「大阪ダブル選挙の結果をどう受け止めるべきか？」『フォーラム大阪』127号、1-3頁、2012年、査読無。

【2011年】

- ・嶋田暁文「セクショナリズムと紛争マネジメント」『法学新報』118巻3・4号、67-117頁、2011年、査読無。
- ・嶋田暁文「福祉有償運送をめぐる法的問題点」『地方自治職員研修』44巻10号、24-26頁、2011年、査読無。
- ・嶋田暁文「自治体政策法務の推進体制—現状分析と今後の課題」北村喜宣ほか編『自治体政策法務』有斐閣、2011年、578-594頁。
- ・嶋田暁文・安藤孝・中村珠美・安川浩平「(座談会)自治体職員の研修の現状と課題」『地方自治ふくおか』51号、4-37頁、2011年、査読無。
- ・嶋田暁文「いまなぜ公共サービス基本条例なのか?—その狙いと意義」『月刊自治研』2011年1月号、67-74頁、2011年、査読無。

【2010年】

- ・嶋田暁文「福祉有償運送をめぐる法政策論的考察～運営協議会問題を中心に～」『自治総研』2010年12月号、1-54頁、2010年、査読有。
- ・嶋田暁文「自治体政策法務の推進体制—現状分析と今後の課題」『ジュリスト』1409号、106-113頁、2010年、査読無。
- ・嶋田暁文「公共サービス基本条例とは何か—その必要性・内容・意義」『とうきょうの自治』78号、7-15頁、2010年、査読無。

- ・嶋田暁文「交通基本法のあり方と地方分権—『移動権』を実質化するために何が求められるのか」『運輸と経済』70巻8号、26-34頁、2010年、査読無。
- ・嶋田暁文「政策実施とプログラム」大橋洋一(編著)『政策実施』ミネルヴァ書房、191-212頁、2010年。
- ・嶋田暁文「執行過程の諸相」大橋洋一(編著)『政策実施』ミネルヴァ書房、213-240頁、2010年。
- ・嶋田暁文「ローカル・マニフェストの批判的検討」『地方自治法研究』(韓国地方自治法学会誌)10巻4号、283-303頁、2010年、査読無。

【2009年】

- ・嶋田暁文「公務遂行主体の民間化の受けとめ方～公共サービス改革法をめぐる公法学の議論を手がかりに」『自治総研』2009年6月号、1-61頁、2009年、査読有。
- ・嶋田暁文「制度化の政治学～制度化アリーナの重要性と分権改革の意義」『自治総研』2009年1月号、1-38頁、2009年、査読有。

【2008年】

- ・嶋田暁文「省庁間コンフリクトと下水道行政」『自治総研』2008年7月号、pp.35-72、査読有。
- ・嶋田暁文「政策形成(Policy-Making)ーリンドブROM、ウッドハウス『政策形成の過程』」岡崎晴輝・木村俊道編著『はじめて学ぶ政治学』ミネルヴァ書房、2008年、pp.171-182。

【2007年】

- ・金井利之・嶋田暁文・光本伸江・今村都南雄「倉敷市『美観地区』の文化と伝承」『自治総研』2007年4月号、pp.1-48、査読有。
- ・嶋田暁文「まちづくりの動態～真鶴町の《その後》～」『自治総研』2007年8月号、pp.43-103、査読有。

【2006年】

- ・嶋田暁文「書評 橋本信之『サイモン理論と日本の行政--行政組織と意思決定』」『年報行政研究』第41号、2006年、pp.221-225、査読無。
- ・今村都南雄・金井利之・嶋田暁文・光本伸江「大分県湯布院町の《まちづくり、その後》—湯布院町役場編—」『自治総研』2006年4月号、pp.1-23、査読有。
- ・今村都南雄・金井利之・嶋田暁文・光本伸江「大分県湯布院町の《まちづくり、その後》—由布院観旅編—」『自治総研』2006年5月号、pp.1-23、査読有。
- ・嶋田暁文「自治体計画行政の理論と現実」今村都南雄編著『現代日本の地方自治』(敬文堂、2006年)pp.265-287。

【2004年】

- ・嶋田暁文「現代型訴訟としての住民訴訟の可能性—葉山町下水道住民訴訟を題材にして—(下)」『自治総研』2004年3月号、pp.21-43、査読有。

	<ul style="list-style-type: none"> ・嶋田暁文「分権一括法制定後の条例制定動向について」『自治体学研究』第 89 号、2004 年、pp.44-47、査読無。 <p>【2003 年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶋田暁文「第 3 回世界水フォーラムにおける水道民営化論議～『官民の連携』セッションでの議論を中心に～」『自治総研』2003 年 10 月号、pp.1-49、査読有。 ・嶋田暁文「地方分権と現場変革」北村喜宣編『ポスト分権改革の条例法務』ぎょうせい、2003 年、pp.93-106。 ・嶋田暁文「多摩地域における水道事業～都営一元化をめぐる軌跡と現状」中央大学社会科学研究所『多摩地域の都市ガバナンス』（中央大学社会科学研究所研究報告、第 55 号）pp.119-143、査読無。 <p>【2002 年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶋田暁文「現代型訴訟としての住民訴訟の可能性—葉山町下水道住民訴訟を題材にして—(中)」『自治総研』2002 年 12 月号、pp.58-87、査読有。 ・嶋田暁文「現代型訴訟としての住民訴訟の可能性—葉山町下水道住民訴訟を題材にして—(上)」『自治総研』2002 年 10 月号、pp.26-51、査読有。 ・嶋田暁文・山口道昭・人見剛「福祉分野における分権改革の影響」『自治総研』2002 年 8 月号、pp.17-75、査読有。 <p>【2000 年以前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶋田暁文「分権時代の下水道行政」今村都南雄編『自治・分権システムの可能性』敬文堂、2000 年、pp.217-245。 ・嶋田暁文「コンフリクト・マネジメントの視点—『コンフリクトを許容する公共サービス供給システム』の構築を目指して—」『法学新報』第 107 巻第 1・2 号、2000 年、pp.263-294、査読無。 ・嶋田暁文「アメリカ行政学、シティ・マネージャーと政治・行政二分論～政治・行政関係をめぐる準備的考察～」『中央大学社会科学研究所年報』第 5 号、2000 年、pp.131-155、査読無。 ・嶋田暁文「下水道行政の展開とその諸問題」『自治総研』1999 年 11 月号、pp.19-44、査読有。 ・嶋田暁文「現代行政における調整メカニズム」『中央大学大学院研究年報（法学研究科）』第 29 号、1999 年、pp.333-345、査読無。
ホームページ	なし
連絡先	九大 HP でメールアドレスがわかりますので、そちらからお願いします。
備考	